

上下水道部

部目標



汚水管の更生工事



更生前



更生後

上下水道部は、上下水道経営課・上下水道給排水課・上下水道整備課・上下水道管理課で構成し、公営企業として水道事業及び下水道事業を運営しています。

上下水道部の目標（令和３年度）	上下水道部長 岩田 正 博
【部の基本方向】 市民生活において重要なライフラインである水道事業及び下水道事業を公営企業として運営を図り、企業としての経済性を発揮しながら安定した事業経営を継続し、将来にわたって市民の皆さんの暮らしを支えていくことを目指します。	
【部の重点方針】 - 安全な水道水を安定して供給するとともに、地震などの災害発生時に被害を最小限に抑えられるよう、水道施設の耐震化工事及び改修工事を「入間市新水道ビジョン」に基づき計画的に進めます。 - 下水道を安定的に将来にわたって利用していただくため、下水道管路施設の維持管理等を「入間市下水道事業中長期経営計画」に基づき、計画的に進めます。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【上下水道経営課】 - 平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年間の計画期間とした「入間市新水道ビジョン」及び「入間市下水道事業中長期経営計画」が中間年を迎えるため、投資財政計画を示した上で入間市上下水道審議会の意見を伺い、後期 5 か年の計画の見直しを行います。 【上下水道給排水課】 - 汚水処理区域内で未接続の世帯に対し、公共下水道管への接続を促し、現在 97.6%の水洗化率を 97.8%まで引き上げます。	【目標の達成度合】 「入間市新水道ビジョン」及び「入間市下水道事業中長期経営計画」に定める後期 5 か年の投資財政計画の見直し案を入間市上下水道審議会に示し、協議を重ねた結果、両計画ともに令和 5 年度に試算していた 10%の水道料金・下水道使用料の値上げをせずに令和 8 年度までの収支バランスをとることができました。なお、この計画期間中であっても、経営状況によっては、料金、使用料改定の検討を行うものとなりました。 - 普及促進事業を実施した結果、今年度は 56 の未接続世帯が公共下水道へ接続しました。また、水洗化率は 0.2 ポイント上昇し 97.8%になりました。

【上下水道整備課】     3 「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき、老朽化した配水管の耐震管への布設替工事を実施します。 ・配水管布設替工事：約 3,000m 4 「入間市下水道総合地震対策計画」に基づき、下水道管路施設の耐震化工事及び老朽化した污水管渠の更生工事等を実施します。 ・耐震化工事：マンホール 2 か所 ・污水管渠更生工事：約 1,840m ・污水管渠布設替工事：111m ・取付管布設替工事：127 か所	3 老朽化した配水管の耐震管への布設替工事を実施しました。一部の工事がダクタイル鋳鉄管の塗料問題に伴い、材料の入荷遅れなどにより繰り越しとなったため、目標には及びませんでしたが、繰り越した工事は令和 4 年 5 月末までに完了しました。 ・配水管布設替工事：2,069.00m（年度内） ：2,962.20m（5 月末） 4 下水道管路施設の耐震化工事及び老朽化した污水管渠の更生工事等を実施しました。耐震化工事につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、資機材及び専門業者の確保に時間を要したことから繰り越しとなったため、目標には及びませんでしたが、工事は令和 4 年 6 月末には完了予定となっています。 ・耐震化工事：マンホール 0 か所（年度内） ：マンホール 2 か所（6 月末） ・污水管渠更生工事：1,838.13m ・污水管渠布設替工事：105.66m ・取付管布設替工事：149 か所
【上下水道管理課】     5 有収率を向上させるために、漏水対策（水道）を実施します。 6 入間市下水道ストックマネジメント計画により、管渠のカメラ調査を実施し、修繕が必要な管渠については速やかに対応します。 ・カメラ調査延長：約 2,300m	5 漏水調査業務委託を実施しました。 ・調査地区：東金子・宮寺・二本木地区 ・漏水調査件数：6,498 戸 ・漏水発見件数：23 件 6 公共下水道管路施設調査業務委託を実施しました。今回の調査で緊急に修繕が必要な箇所はありませんでした。 ・調査地区：大字新久地内外 ・污水管渠内カメラ調査：2,310.30m